



平成 30 年 1 月 20 日(土) のしろまち灯り ろうそく・凧絵灯ろう作り 編

2月3日(土)能代市役所のさくら庭などで行われる「のしろまち灯り」を前に、イベント当日点灯するろうそくと凧絵灯ろう作りを能代市子ども館において行いました。能代市内の小学生在午前19名、午後17名ほど参加し、「のしろまち灯り」を彩る灯り作りを頑張ってくれました。

ろうそく作りでは、学校給食の廃食油を利用したエコろうそくを作成。廃食油を80℃になるまで熱し、凝固剤とろうそくを溶かしてアルミカップへ流し入れ、ろうそくの芯を立てて完成しました。まち灯り実行委員の平山さんの指導の下、子供達が熱した油の温度を温度計で確認して実況してくれました！40℃のお風呂のお湯と比べ、「80℃はとても熱いから、気をつけて作業しましょう！」とケガのないように気を配りながら、慎重に作業しました。

凧絵灯ろう作りでは、能代凧保存会の皆さんに教えてもらいながら、灯ろうに貼り付けられた男べらぼう・女べらぼうの凧絵の色づけ作業をしました。

見本の凧絵を見ながら、赤・黄・青など色を確認し、丁寧に筆を動かして凧絵灯ろうを完成させました。テーブルの上には、色づけされた凧絵灯ろうがずらりと並びました。

最後に室内を少し暗くして、完成したろうそくと凧絵灯ろうに灯りをともしってみました。温かな灯りをのぞき込む子供達の顔がやさしく照らされていました。

子供たちが頑張って作ってくれたろうそくと凧絵灯ろうなどで彩られる「のしろまち灯り」。天候に恵まれることを願っています。

文： 児玉 優子



のしろまち灯り実行委員会会長(のしろ白神ネットワーク代表)の能登さん。はじめに「のしろまち灯り」や本日の作業についてお話していただきました。



インフルエンザ流行でマスク着用の子供達！順番にろうそく作りに挑戦。



能代凧保存会の皆さんと凧絵色づけ作業。じっくり丁寧に取り組んでいました。



あたたかなエコろうそくの灯り



丁寧に色づけされた凧絵灯ろう